

# スリムハイキⅡ

## 施工要領書

### 型式

同時給排気仕様 : KVV2-WA

同時給排気防火ダンパー組込仕様 : KVV2-WA-FD

排気専用仕様 : KVV2-SA

排気専用防火ダンパー組込仕様 : KVV2-SA-FD

◇本製品はIH調理器専用の換気システムです。

IH調理器以外の調理器具には使用しないでください。

◇『スリムハイキⅡ』システムを施工して頂くにあたり、  
必ず本資料を読み施工してください。

### — もくじ —

|                                      |          |
|--------------------------------------|----------|
| 1. 安全上のご注意とお願い                       | 1～2ページ   |
| 2. 各部の名称                             | 3ページ     |
| 3. 各部のはたらき                           | 4ページ     |
| 4. 外形寸法図                             | 5ページ     |
| 5. 電気配線図                             | 6ページ     |
| 6. 取り付け前の調査と準備(設置する壁の製作)             | 6～13ページ  |
| 7. 施工方法(機器類の設置)                      | 14～19ページ |
| 8. 防火ダンパー組込仕様について<br>(防火ダンパー組込仕様の場合) | 20～21ページ |

■施工についてのご不明な点は、下記までお問合せください。

協立エアテック株式会社

弊社連絡先 : □東北 : 022-284-2516

□東京 : 03-3656-2161

□名古屋 : 0567-56-5338

□大阪 : 06-7176-1566

□広島 : 082-503-8650

□九州 : 092-947-6158

本施工要領書の内容は、機器の改良などにより予告なしに変更する場合があります。



協立エアテック株式会社

# 1. 安全上のご注意とお願い

- 施工にあたり、地域により防災上の制限を受けることがあります。その際は所轄の消防署の指導にしたがってください。
- 取付の際に、必ずこの「安全上の注意事項」をお読み下さい。
- この項に示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守り下さい。

|   |   |
|---|---|
|  <b>警告</b> | 死亡または重傷など、重大な事故の発生が想定される内容です。   |
|  分解禁止      | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 改造や必要以上の分解はしないで下さい。<br/>火災や感電・ケガの原因となります。</li> </ul>   |
|  禁止        | <ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>本製品はIH調理器専用です。ガス調理器には使用しないで下さい。</b><br/><b>炎の立ち消えによるガス漏れ、ガス中毒および火災の原因となります。</b></li> <li>● 室内グリルが接触する壁及び室外ユニットの壁接触面、吹出側は不燃材を使用して下さい。</li> <li>● 電気配線は室内グリル、短管の近傍等熱の影響がある場所には施工しないで下さい。</li> <li>● 室外ユニットの吹出し方向に可燃物を置かないで下さい(半径60cm以内)。</li> </ul>   |
|          | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 据え付けは、工事専門店で依頼して下さい。<br/>ご自分で据付工事をされ不備があると、感電・火災などの原因になります。</li> <li>● 据え付けは、施工要領書に従って正しく行って下さい。<br/>落下、火災、感電等によるケガの原因になります。</li> <li>● 据え付けは、天気のよい日に行って下さい。<br/>雨天など悪天候時に施工されますと、感電や故障の原因となります。</li> <li>● 定格電圧（AC100V）にて使用して下さい。<br/>指定以外の電圧で使用すると火災や感電の原因となります。</li> <li>● メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける。<br/>漏電した場合に感電や火災の原因となります。</li> <li>● 電気工事は有資格者により「電気工事に関する技術基準」、「内線規定」、ならびに施工要領書に従って施工し、必ず専用の漏電ブレーカーを設置して下さい。<br/>回路容量不足や接続不良・誤った配線は、感電や火災の原因となります。</li> </ul> |
|  アース確認   | <ul style="list-style-type: none"> <li>● アース工事(D種(第三種)設置工事)を確実に行って下さい。<br/>アース工事が不完全だと、故障や漏電時の感電の原因となります。</li> </ul>  |

**注意**

けがや、物的損害の発生が想定される内容です。



指示に従い  
必ず行う

- 取付けならびに保守作業時は、手袋を着用して下さい。  
ケガの原因となります。
- 高所作業となる場合は、足元に注意し、脚立など安定した台を使用して下さい。  
滑りやすい履きものを履いていたり、不安定な台に乗っての作業は、転倒や落下によるけがや破損の原因となります。
- 専用の漏電ブレーカーを取り付けて下さい。  
漏電ブレーカーが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。
- 本体取り付け部には補強を施し、十分な強度をもたせて下さい。  
落下による破損、故障、けがの原因となります。
- 各部品の取り付けは確実に行って下さい。  
故障や落下によるけがの原因になります。
- 本体およびダクト内部に、異物が入っていないことを確認して下さい。  
故障の原因になります。
- 配線後、長期間御使用にならない場合、漏電ブレーカーを切って下さい。  
絶縁劣化によって感電や火災の原因となります。

**お願い**

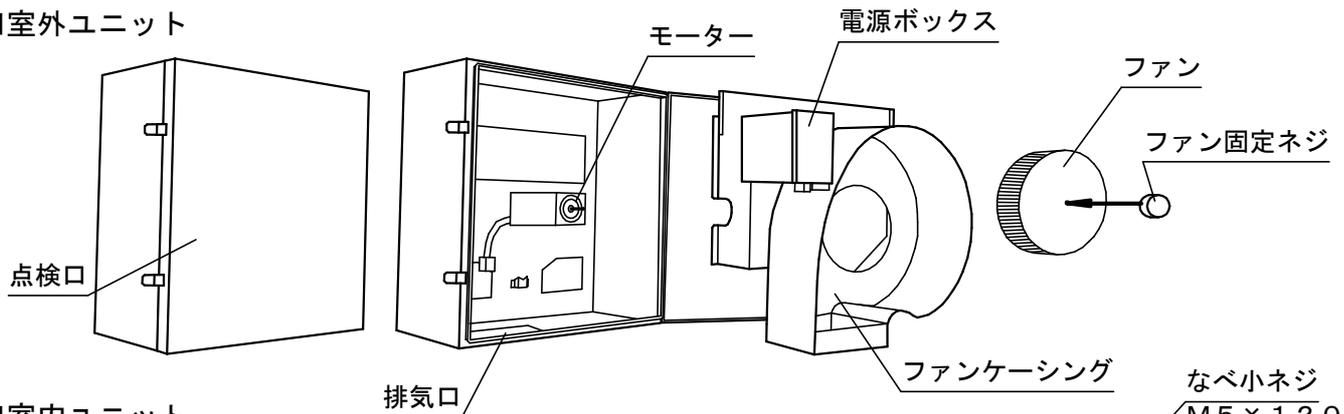
- 本体周囲にはメンテナンススペースを確保して下さい。
- キズの付きやすい場所等に保管しないで下さい。
- 全施工工程終了時まで室外ユニットの養生シートは、はがさないで下さい。
- ファンを外した状態でモーターを回転させないで下さい。  
(回転数が上がり、モーターが焼損する事があります)
- 屋内配線は内線規定にしたがって正しく行って下さい。

**施工時に別途ご用意いただくもの**

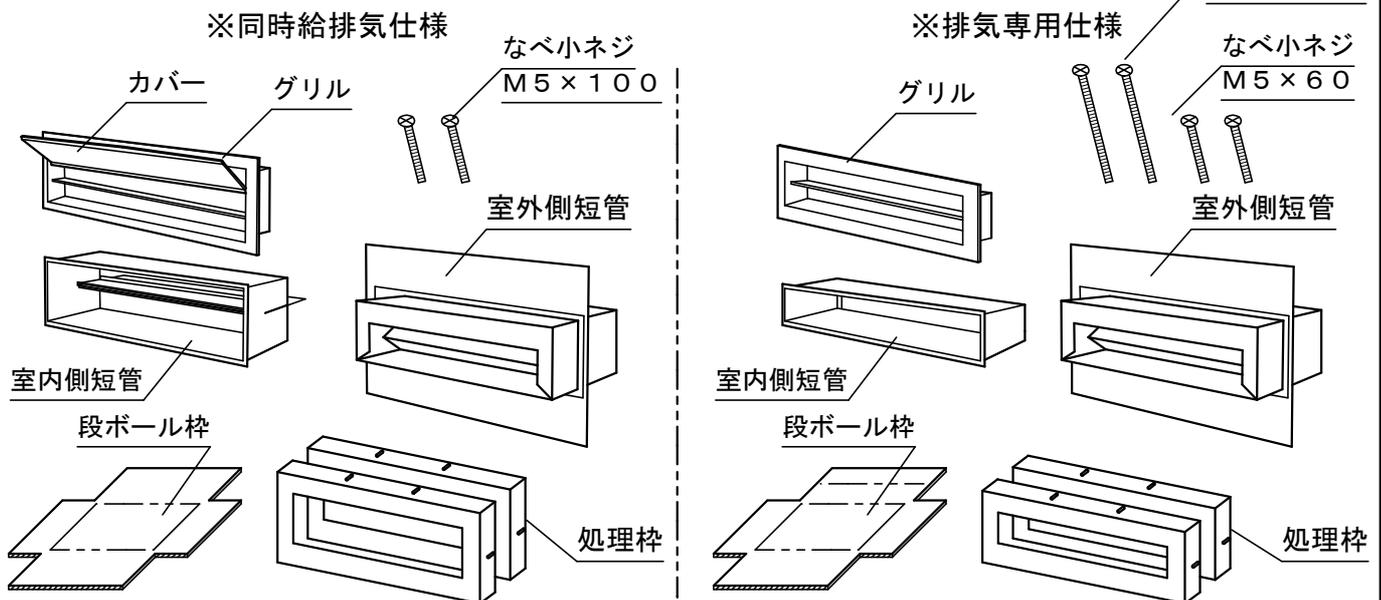
- 専用の漏電ブレーカー（推奨：定格電流20A、感度電流15mA）
- 埋込用スイッチボックス
- 電源線：600Vビニルシースケープル（VV F-2C）φ1.6又はφ2（単線）
- 渡り電線：600Vビニルシースケープル（VV F-3C）φ1.6又はφ2（単線）
- アース線：D種（第三種）設置工事（φ1.6又はφ2 緑色（単線））
- シール材
- 気密テープ・アルミテープ
- 室外ユニット設置用木枠等（建築造作）

## 2. 各部の名称

### ■ 室外ユニット



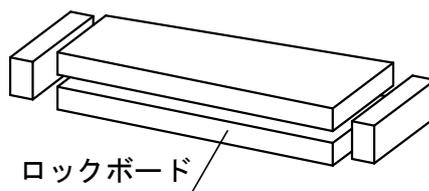
### ■ 室内ユニット



処理枠は気密・防水処理の為の部材です

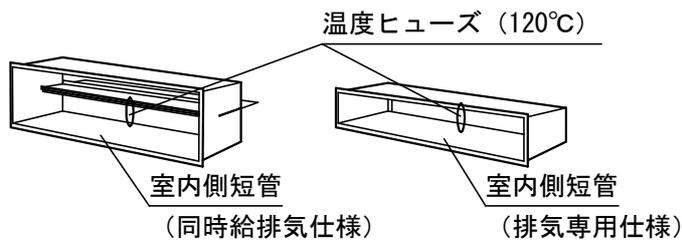
### ■ スイッチと保温材 (付属品)

コントロールスイッチ



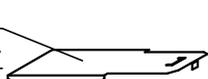
### ■ 防火ダンパー

延焼区画等で防火ダンパーが必要な場合に使用します。(防火ダンパー組込仕様の場合)



注意)  
ご注文時に指示して下さい。  
防火ダンパー仕様は、専用の室内短管  
を使用します。

ヒューズ  
取付工具



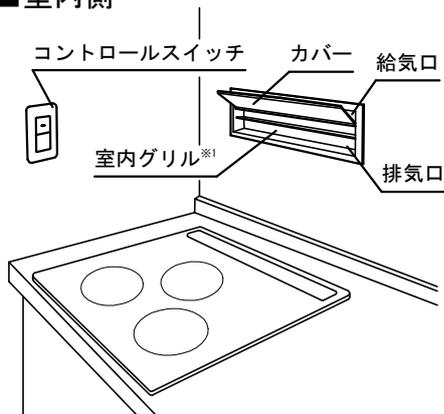
温度ヒューズ



※ヒューズ取付工具は、ヒューズ取付の際必要になります。取扱説明書と一緒にお施主様にお渡し下さい。

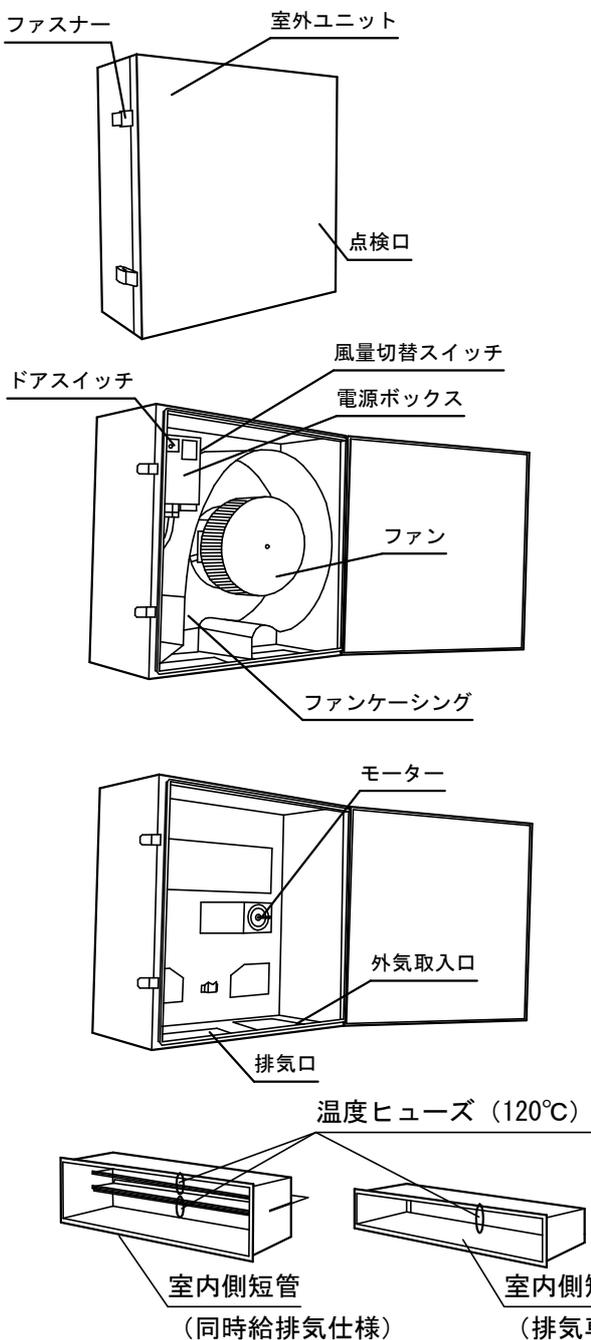
### 3. 各部のはたらき

#### ■室内側



※1：同時給排気仕様

#### ■室外側



#### ●室内グリル（排気専用仕様）

台所の壁面に設けられ、調理時に発生した煙や湯気を吸込んで内蔵のベーンにより気流を整流し、室外へ導きます。

#### ●室内グリル（同時給排気仕様）

同時給排気仕様は、給気口を標準仕様として設けたグリルです。グリル上部の給気口から室内に外気を取り入れます。

※お住まいの気密状態（C値1.5以下）によっては、別途給気口を設置する場合があります。

#### ●コントロールスイッチ

運転（入）・停止（切）・風量（強・弱）の切替を行うことができます。

#### ●室外ユニット

内部に大径のシロッコファンを内蔵し、調理時に発生した煙や湯気を強制的に屋外へ排出します。

#### ●電源ボックス

室内のコントロールスイッチから送られた信号を受けて室外ユニットを制御します。

#### ●風量切替スイッチ

風量切替スイッチを『急』にすると、強運転よりもさらに排気量を増やすことができます。

※通常（工場出荷時）は『強』設定となっています。

#### ●ドアスイッチ

運転中に点検口を開いた場合、運転を自動的に停止させます。

前面には、安全のため保護ガードを取り付けています。（点検口が開いたままだと運転できません）

#### ●排気口

室内グリルから吸込んだ煙などを屋外に排出します。

#### ●外気取入口（同時給排気仕様の場合）

新鮮な外気を室内へ取入れます。

#### ●防火ダンパー（防火ダンパー組込仕様の場合）

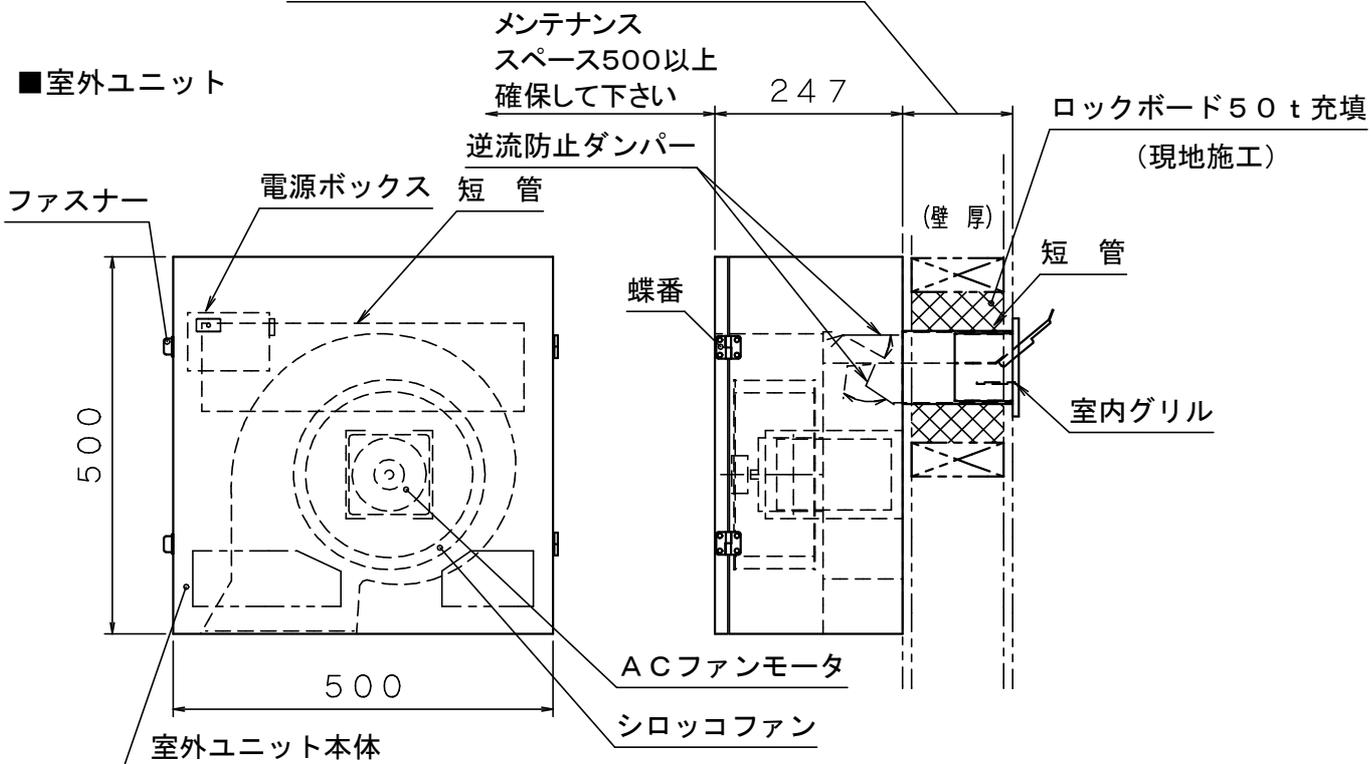
火災が発生した場合、火災の延焼、煙の流出を防ぎます。

# 4. 外形寸法図

**注) 機種によって対応壁厚が異なります。**

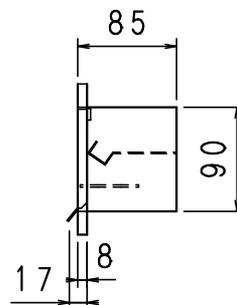
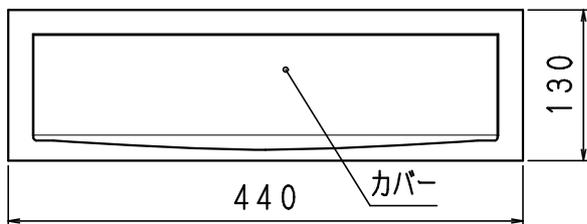
145~235 【K VW2-WA (FD)】

130~235 【K VW2-SA (FD)】

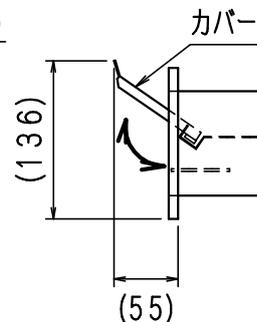
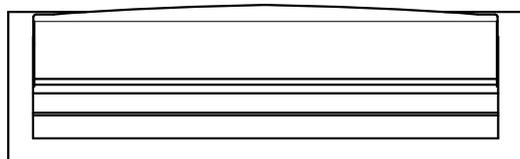


## ■ グリル

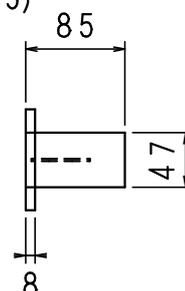
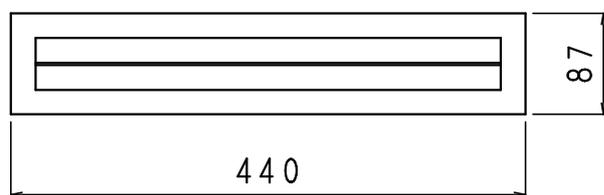
同時給排気: 停止時(カバーを閉じた状態)



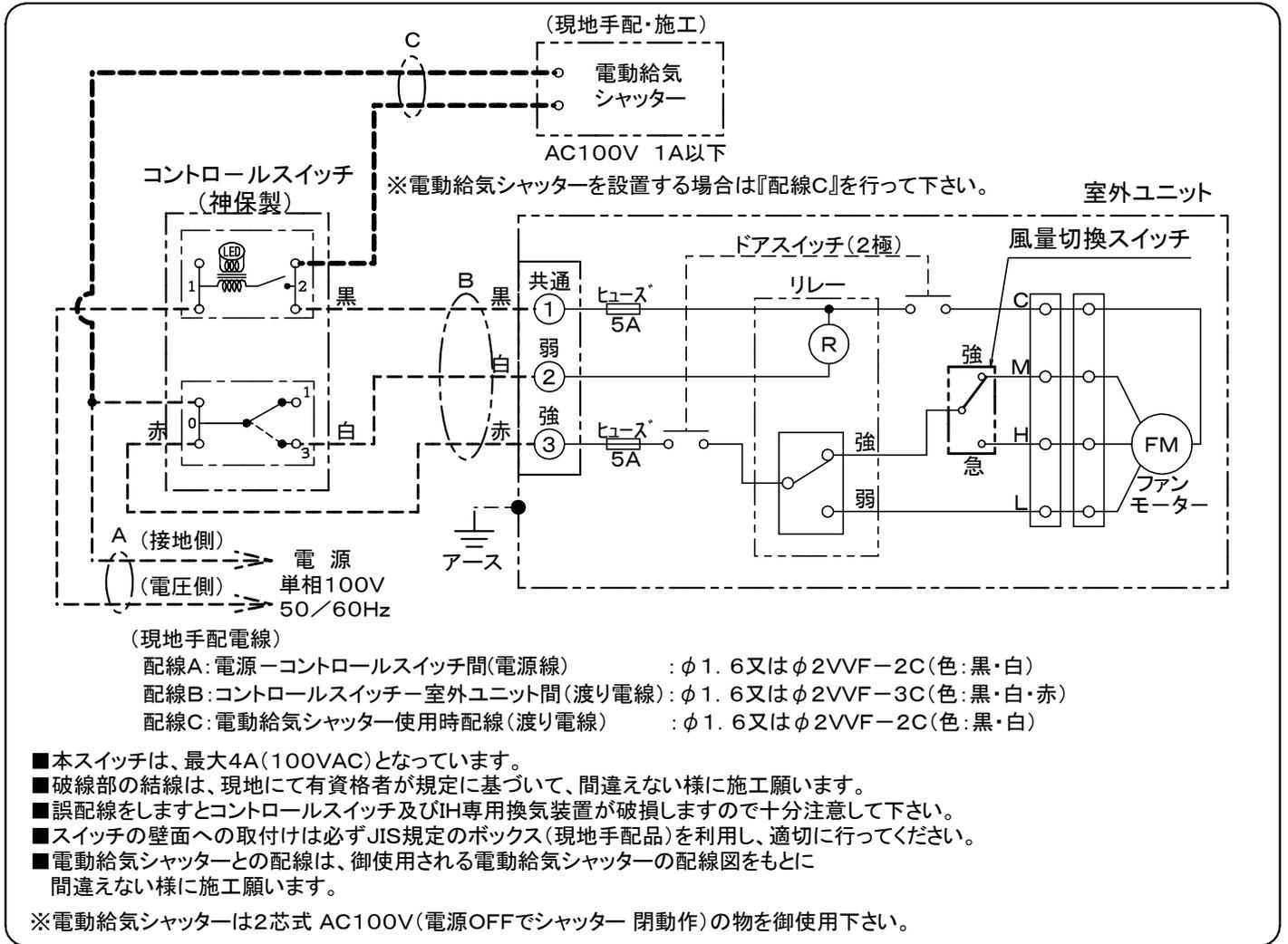
同時給排気: 給排気運転時(カバーを開けた状態)



排気専用

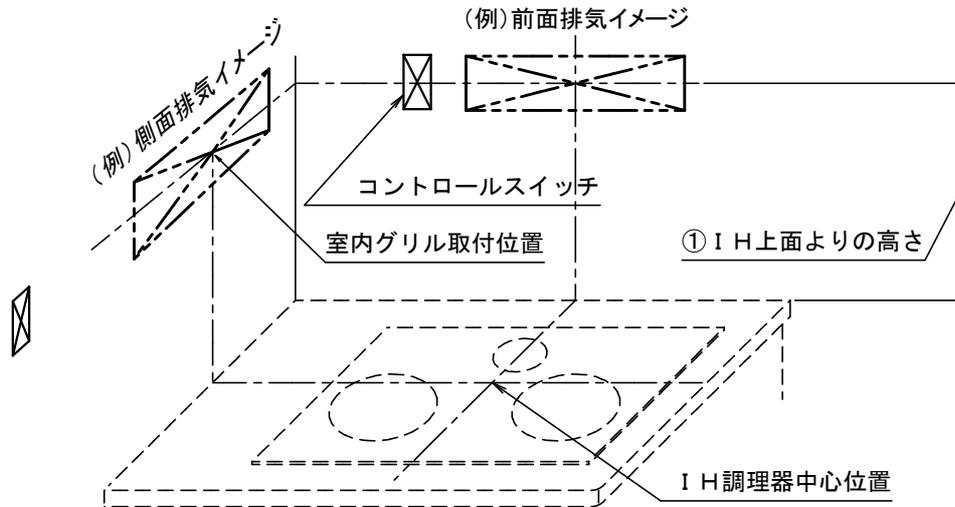


## 5. 電気配線図



## 6. 取り付け前の調査と準備(設置する壁の製作)

●室内グリルとコントロールスイッチの取付位置をあらかじめご確認下さい。



※室内外の取付開口の加工は、スリムハイキ設置基準位置に沿って加工して下さい。

※スイッチ取付位置を決め、加工を行って下さい。

寸法 (mm)

|   | KVW2-WA(-FD)同時給排気仕様 | KVW2-SA(-FD)排気専用仕様 |
|---|---------------------|--------------------|
| ① | 400±3               | 380±3              |

# 『施工構造の例』

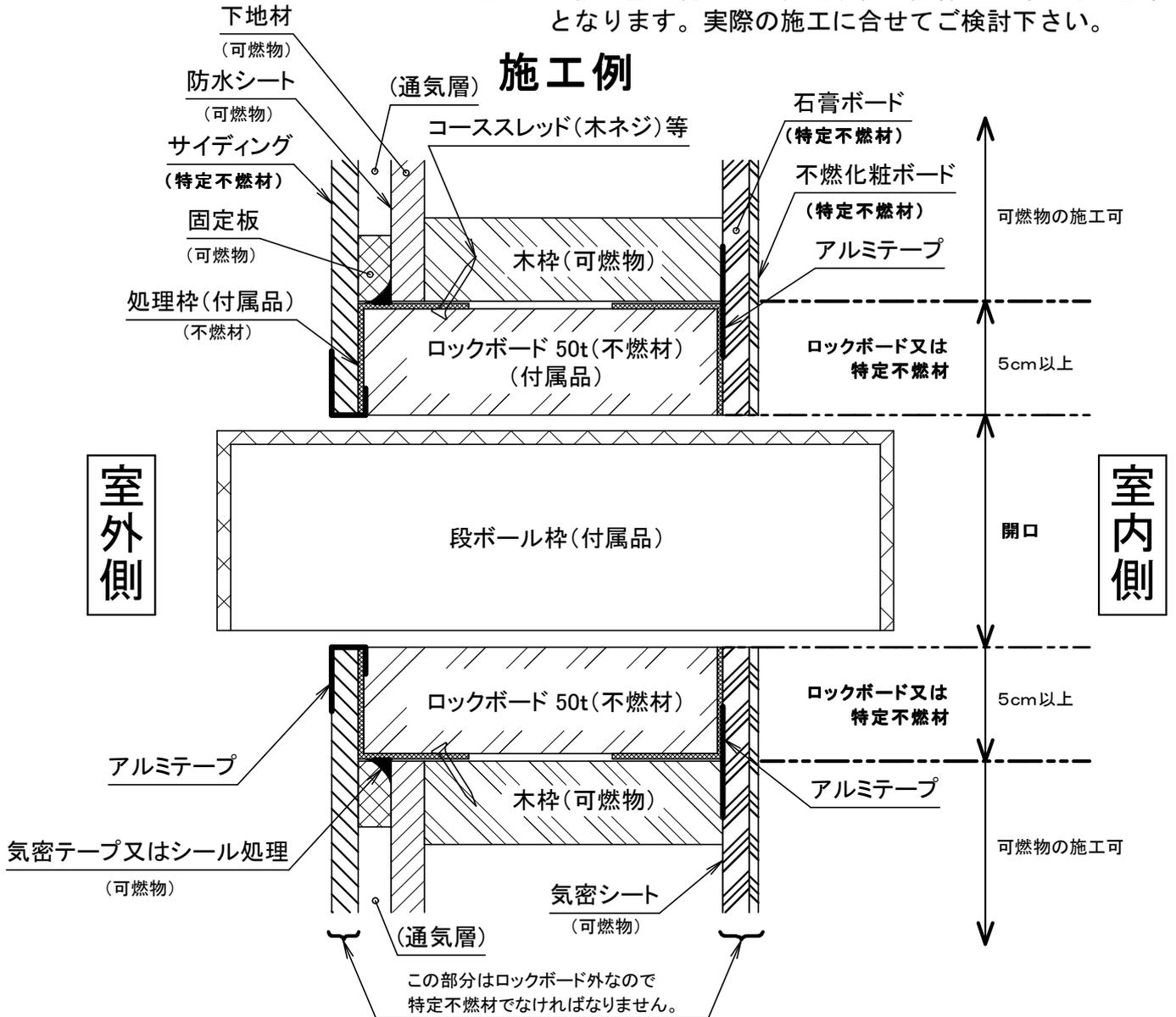
火災予防上、下記内容をご理解頂き壁開口周りの構造を製作下さい。

スリムハイキⅡ短管の周囲(壁内)は同梱のロックボードを介しては5cm、  
ロックボードを介さない場合10cm以上、可燃物を離して下さい。

※詳しくは、所轄の消防署へご確認下さい

注意) 下記の図は施工の一例です。上記枠内が考え方の基準  
となります。実際の施工に合わせてご検討下さい。

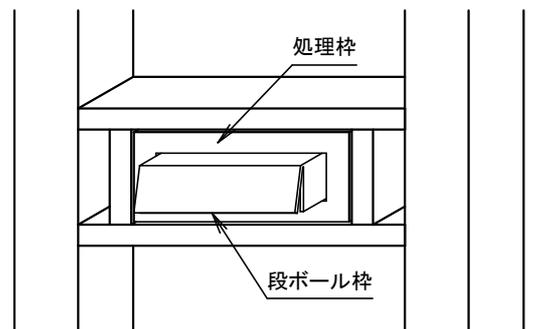
## 施工例



### 【注意】

### 【お願い】

上記図中の段ボール枠は現地で壁開口を正しく  
行って頂く為に施工中、壁開口に差込んでおく為  
のガイド部材です。(付属品)  
段ボール枠には上記と同じ内容が印刷されており  
現地で施工要領を確認しながら施工出来ます。

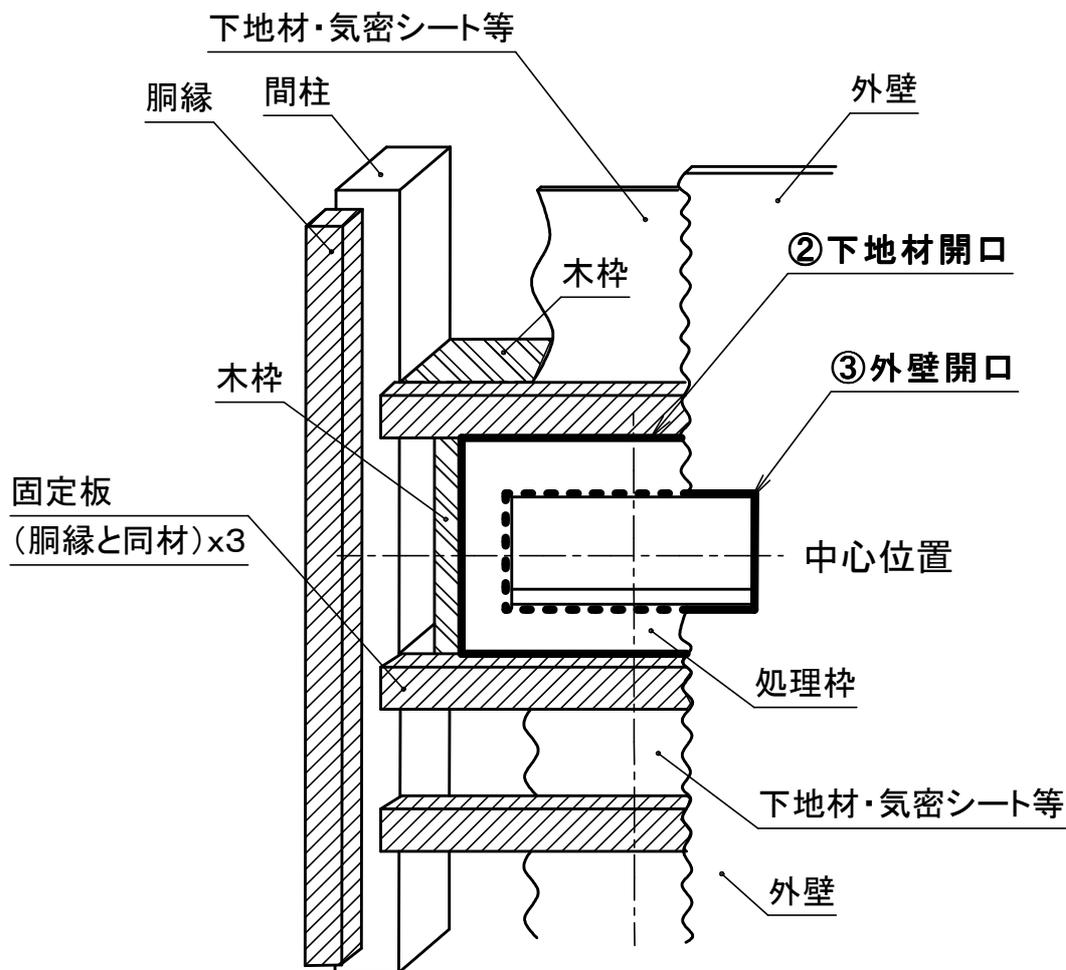


この後の施工は別紙『施工構造の例』と見合わせながらご確認下さい

● 下地材・屋外壁開口の加工（室外側）

・ 開口は、室内グリル位置を基準に加工して下さい。

例：屋外側から見た図



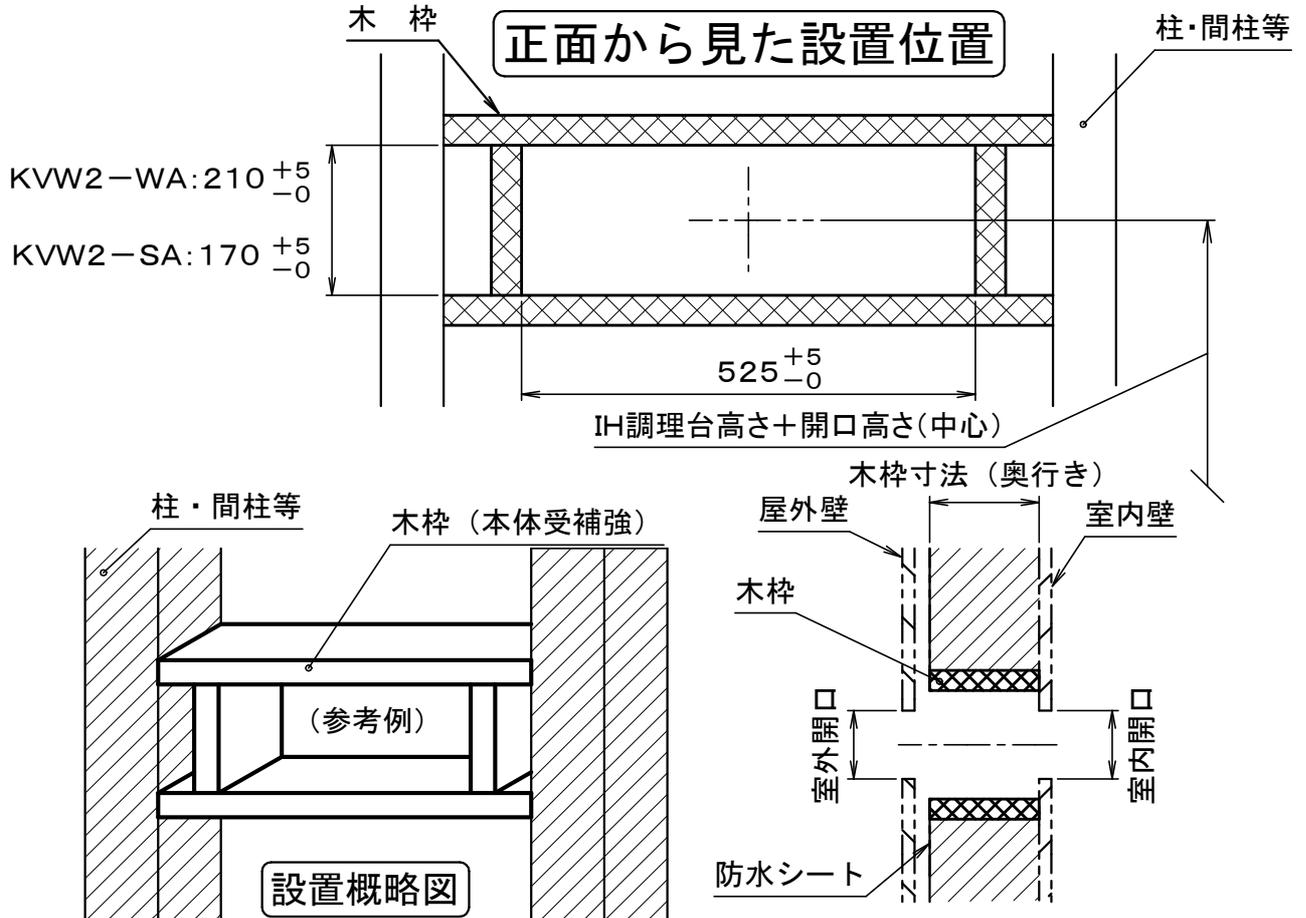
寸法 (mm)

|   | KVW2-WA(-FD)<br>同時給排気仕様  | KVW2-SA(-FD)<br>排気専用仕様   |
|---|--|--|
| ② | 525 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub><br>x 210 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub> | 525 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub><br>x 170 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub> |
| ③ | 425 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub><br>x 110 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub> | 425 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub><br>x 70 <sup>+5</sup> <sub>-0</sub>  |

### ●木枠(本体受補強)の設置(現地製作)

スリムハイキを設置する為の下地造りです。

- ・室内グリルの中心位置を基準として木枠(本体受補強)を設置して下さい。
- ・木枠をしっかりと柱(間柱)等に設置して下さい。
- ・ここで使用する木枠は厚みが38mm以上の物をご使用下さい。



### ●固定板の取付(室外ユニット固定用)

固定板は室外ユニットを木ネジ等で取り付ける際、しっかりと固定を行う為の物です。

**注意**

**!** 指示に従い必ず行う

室外ユニット取付部には補強を施し、十分な強度をもたせて下さい。落下による破損、故障、けがの原因となります。

★(重要) 通気層が無い場合でも、室外ユニットを固定する為の当て木を必ず設置して下さい。

|   |          | 寸法 (mm)                           |                                   |
|---|----------|-----------------------------------|-----------------------------------|
|   |          | KVV2-WA(-FD) 同時給排気仕様              | KVV2-SA(-FD) 排気専用仕様               |
| ④ | 固定板高さ(上) | 105 <sup>+5</sup> / <sub>-0</sub> | 85 <sup>+5</sup> / <sub>-0</sub>  |
| ⑤ | 固定板高さ(下) | 105 <sup>+5</sup> / <sub>-0</sub> | 123 <sup>+5</sup> / <sub>-0</sub> |

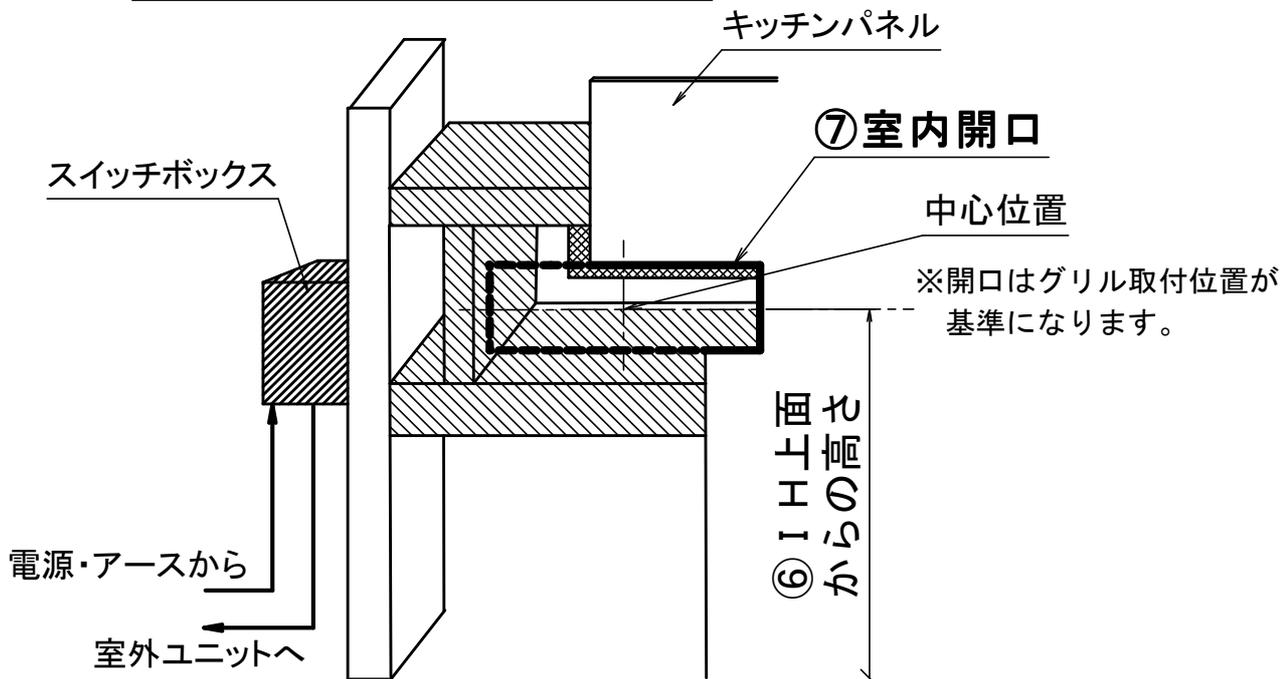
9

KVV2-WA・SA 施工要領書

## ●室内グリル取付開口の加工(室内側)

●開口は、室内グリル位置を基準に加工して下さい。

例:室内(キッチン)側から見た図



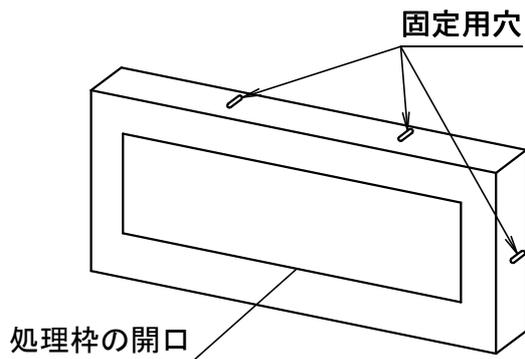
寸法 (mm)

|   | KVW2-WA(-FD)<br>同時給排気仕様  | KVW2-SA(-FD)<br>排気専用仕様  |
|---|--|---|
| ⑥ | 400±3  | 380±3   |
| ⑦ | 425 <sup>+0</sup> <sub>-5</sub> ※<br>x 110 <sup>+0</sup> <sub>-5</sub> | 425 <sup>+0</sup> <sub>-5</sub> ※<br>x 70 <sup>+0</sup> <sub>-5</sub> |

※⑦の寸法は屋外壁開口寸法③と同じですが公差が異なるのでご注意ください。

又、表記寸法⑦より開口が大きくなると室内側短管の つば が開口にかからなくなる事があるのでご注意ください。

## ● 処理枠の取付

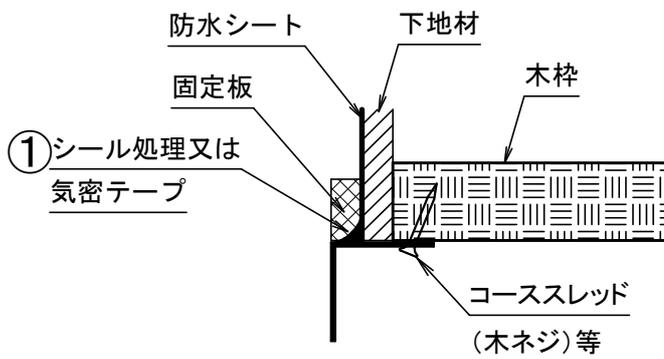


### 処理枠の形状

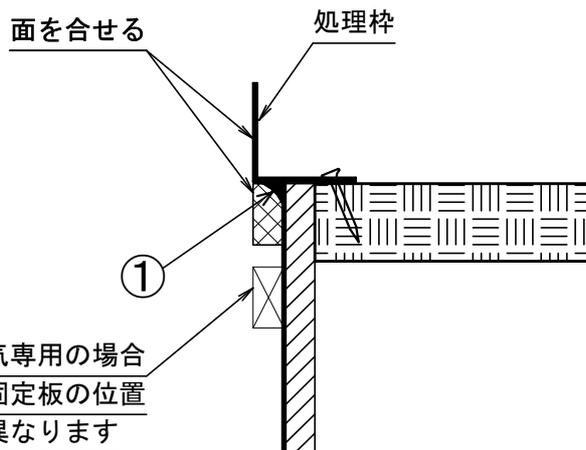
- ・ 処理枠は住宅の防水及び気密を保つ為の部材です。

### 【注意事項】

- ・ 処理枠を木枠に固定し、防水シートの端部と処理枠との間①をシール処理又は気密テープ等で防水処理を行って下さい。
- ・ 処理枠と固定板の面を合わせて下さい。

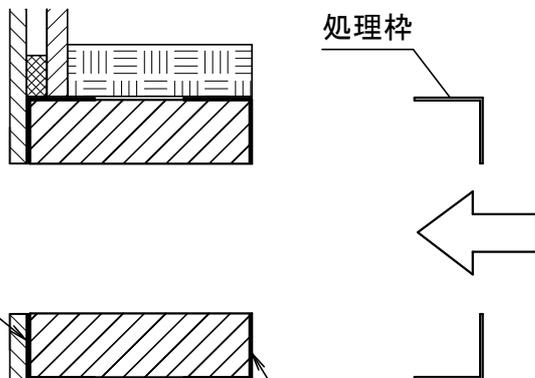
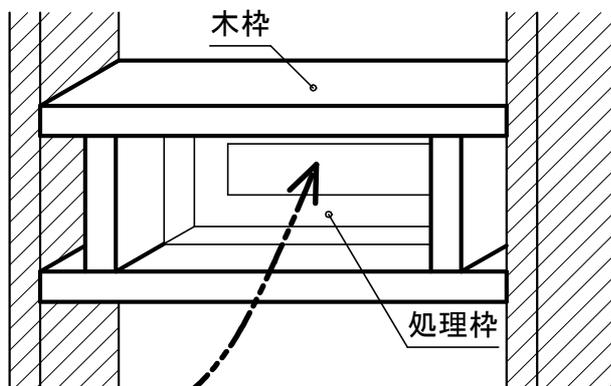
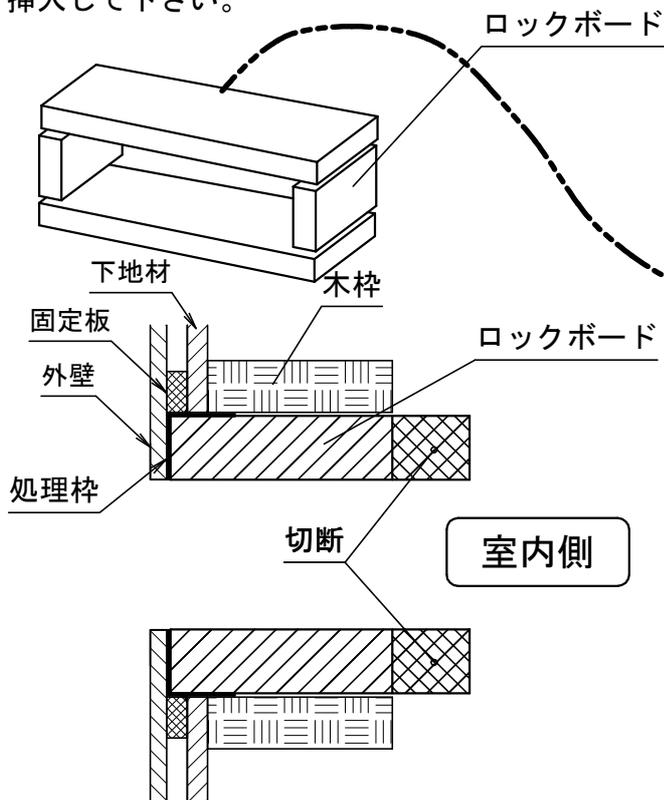


屋外側



## ● ロックボードの充填

- ・ ロックボードを木枠(処理枠)の中に挿入して下さい。

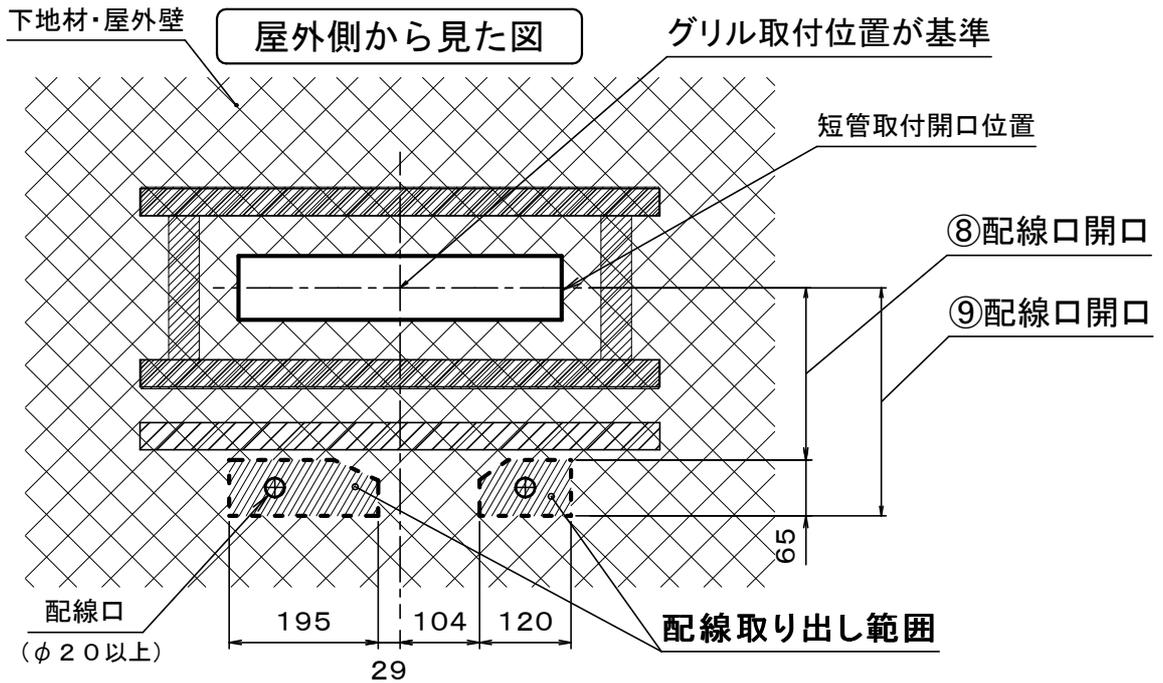


- ・ 木枠より出たロックボードは木枠に合わせて切断して下さい。

- ・ ロックボードを切断後、処理枠を被せて下さい。

## ●屋外壁配線取り出し位置

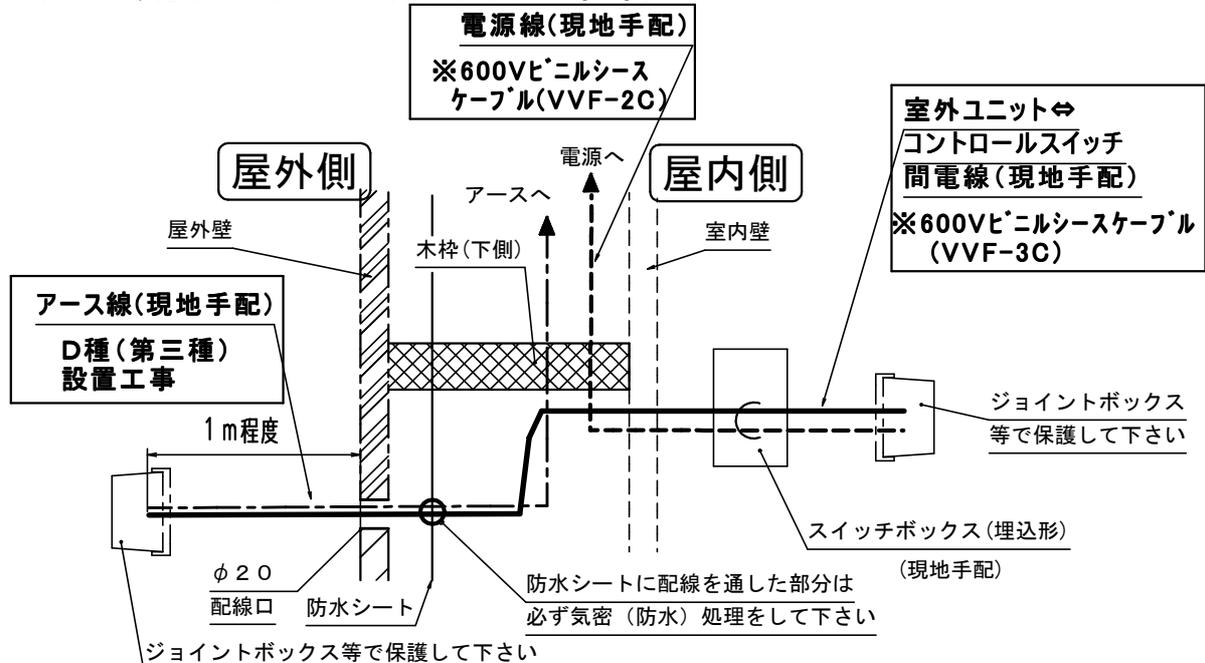
・配線口（φ20以上）は、スイッチの取り回しにより左右どちらかの範囲内から設けて下さい。



※屋外壁に配線を通した後は必ず配線口をシール処理して下さい。

|   | 寸法 (mm)                 |                        |
|---|-------------------------|------------------------|
|   | KVW2-WA(-FD)<br>同時給排気仕様 | KVW2-SA(-FD)<br>排気専用仕様 |
| ⑧ | 255±3                   | 275±3                  |
| ⑨ | 320±3                   | 340±3                  |

## ●スイッチ用ケーブル・ボックスの取付



- ①室外ユニット⇄コントロールスイッチ間電線（以下渡り電線）、電源線、アース線は上図指示のあるものを現地でご用意願います。
- ②渡り電線は、本体受補強(下側)よりも下の位置から屋外にはわせませす。スイッチボックスは間柱等に固定します。
- ③渡り電線・アース線の端部は屋外側に1m程度残し、防塵・防水用のジョイントボックス等で保護して下さい。

## ■注意事項

※渡り電線、電源線、アース線はロックボードの中を通さないで下さい。

※配線は、有資格者が規定に基づいて、間違えないように施工下さい。

※室外ユニットの電源ボックスには、アース工事が必要です。アースの準備も必ず行なって下さい。

※渡り電線の損傷・断線に注意してください。また、木ネジを打つ際は十分に配慮願います。  
※スイッチボックス(埋込形)は別途ご用意下さい。

※配線・アース線・スイッチボックス等は、事前にご用意下さい。

## ●給気口設置位置を確認下さい。

住宅の気密性能により使い分けて下さい。

- ・同時給排気仕様：機械排気、自然給気機構です。

※お住まいの気密状態により、別途給気口を設置する場合があります。

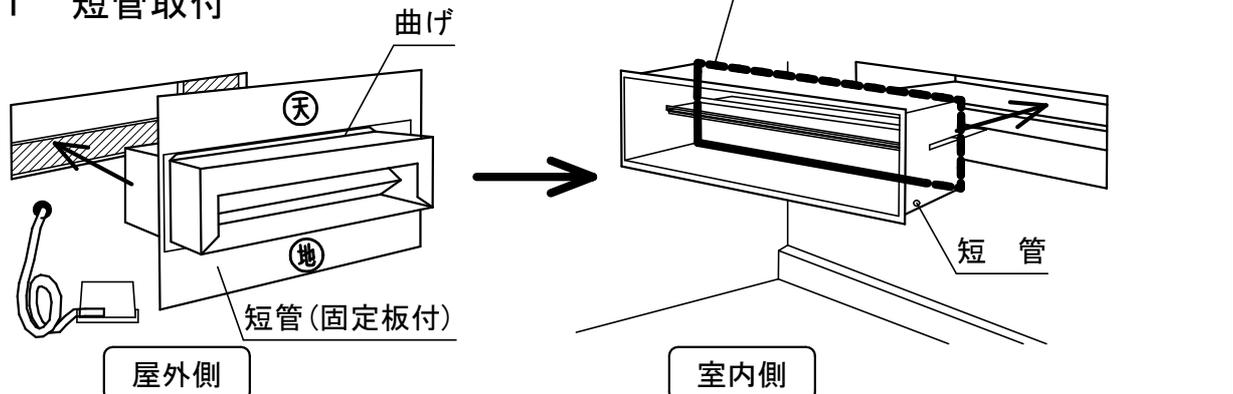
C値1.5以下の場合は、φ150相当の有効開口面積が必要です。

- ・排気専用仕様：既製品の給気口を必要とする場合は、別途設けてください。  
本製品で給気口を設置する場合、キッチン内の天井もしくは天井に近い壁に必ず設置して下さい。電動給気シャッターをご使用する場合、スイッチ側で連動が出来ます。結線図を参照願います。

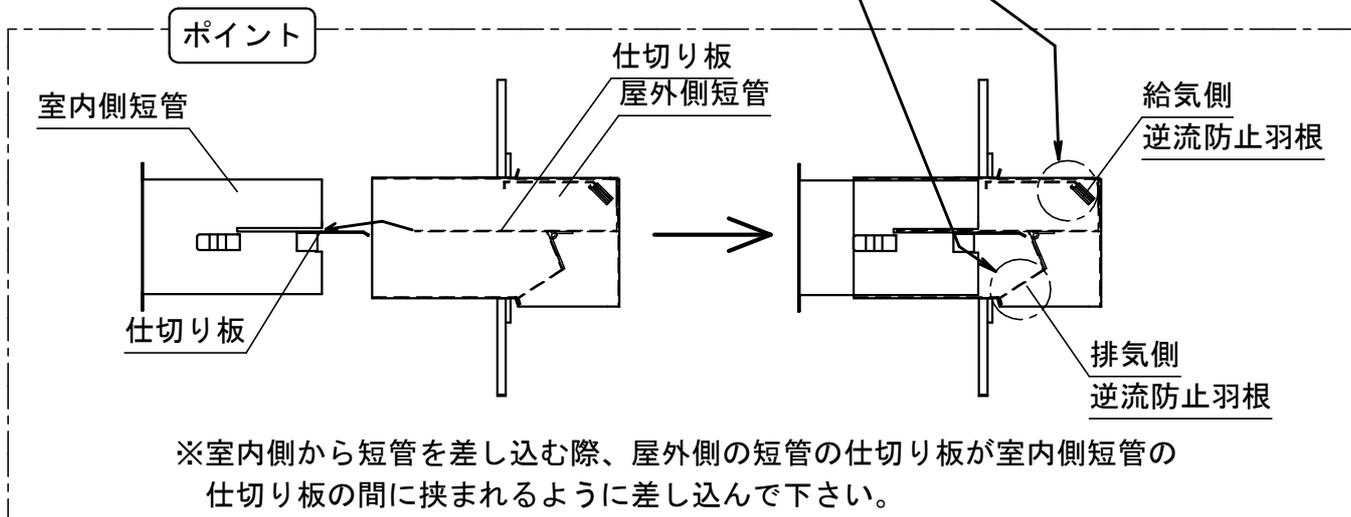
# 7. 施工方法（機器類の設置）

## ●短管取付

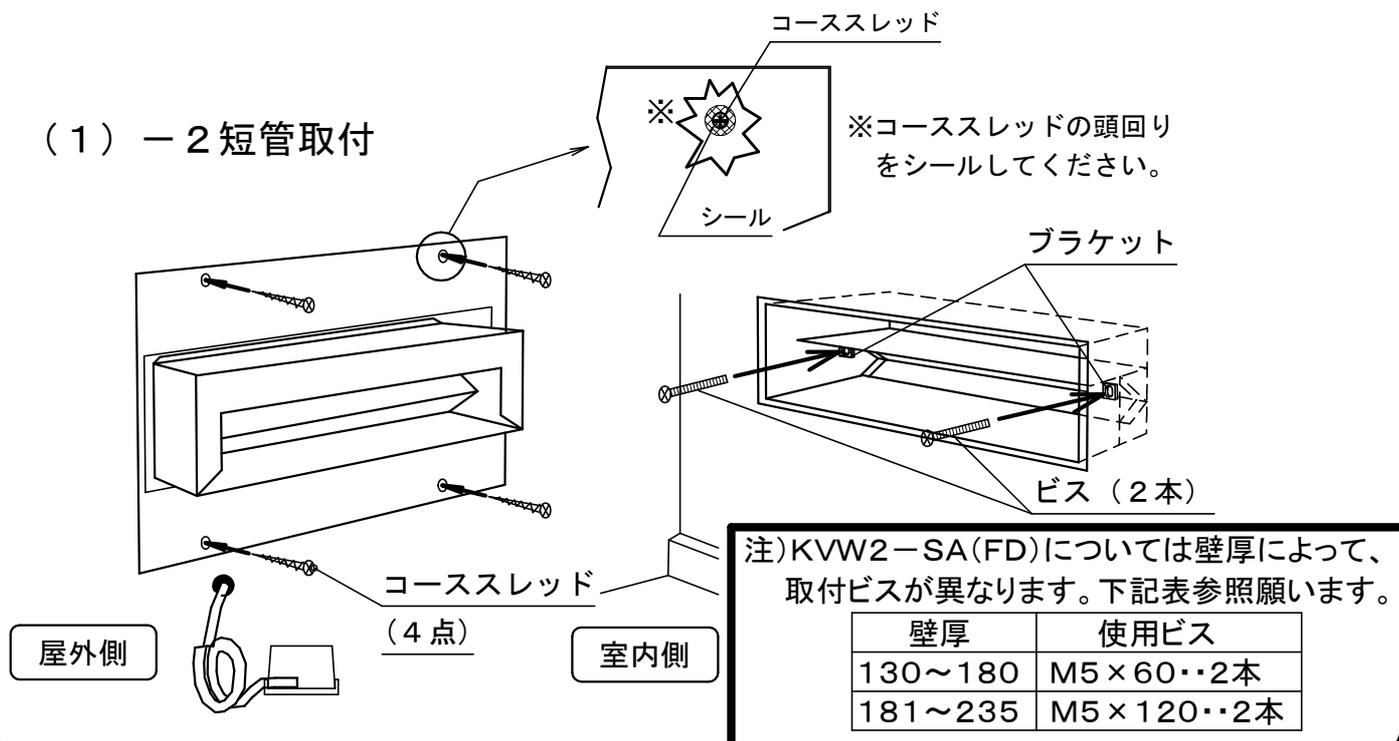
### (1) - 1 短管取付



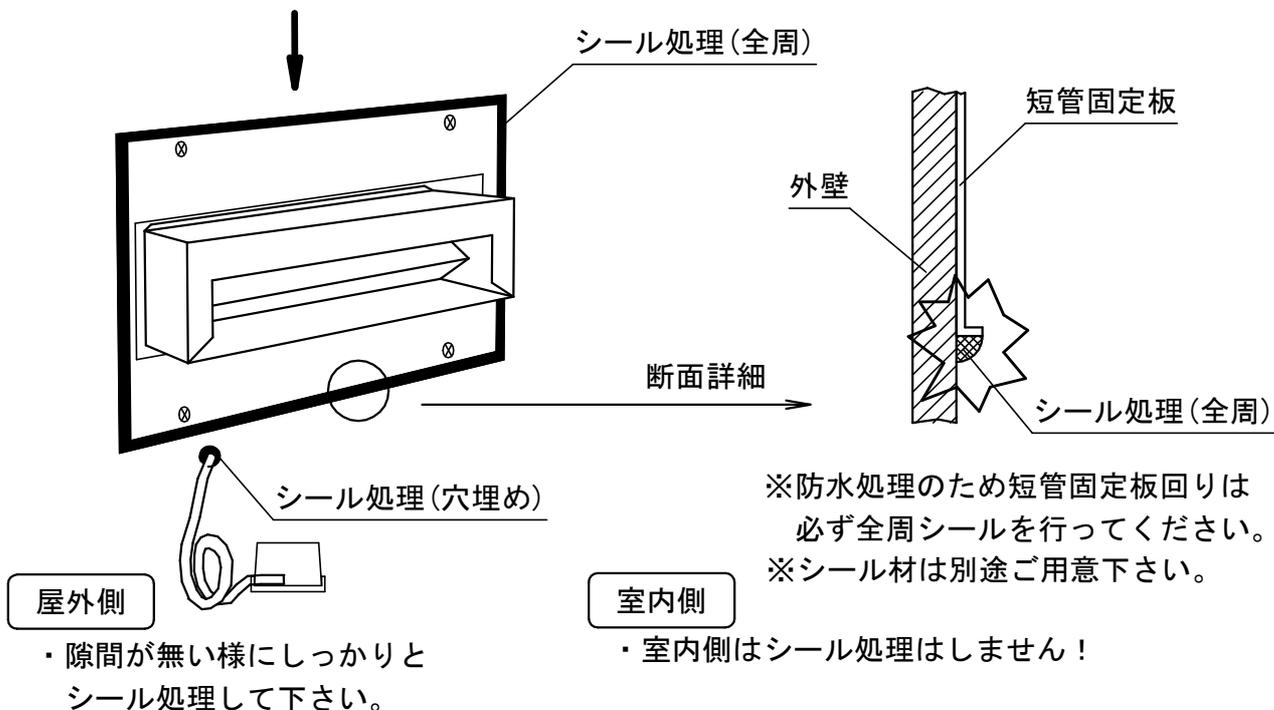
・屋外側から短管(固定板付)を差し込み、その後室内側から短管を差し込みます。  
 ※養生テープで逆流防止羽根を固定していますので、必ず剥して下さい。



### (1) - 2 短管取付

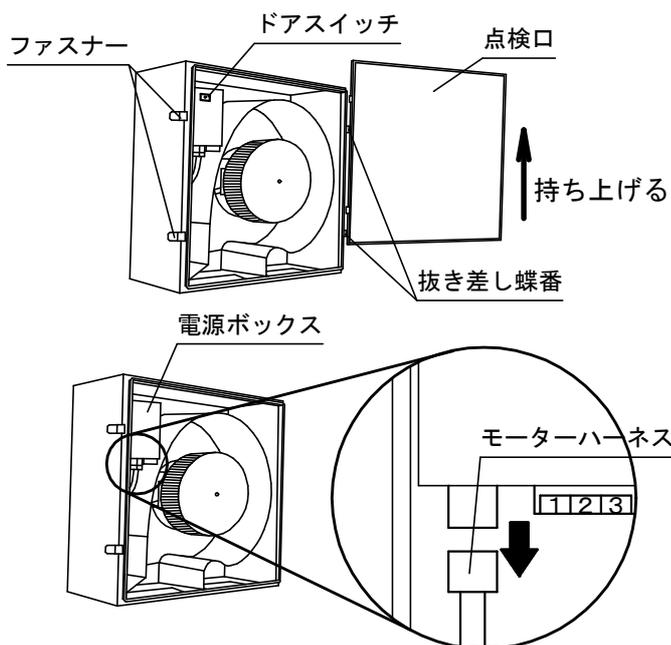


- ・短管（固定板付）をコーススレッドを使用して外壁に固定します（4点）。  
※固定板にコーススレッドが固定されている事を確認して下さい。
- ・室内側の短管は、短管固定ビスを使用して室内側から固定します。  
※固定前に短管のレベルと開口との左右の隙間を調整します。
- ・コーススレッドの固定確認後、頭回りを4箇所シールしてください。

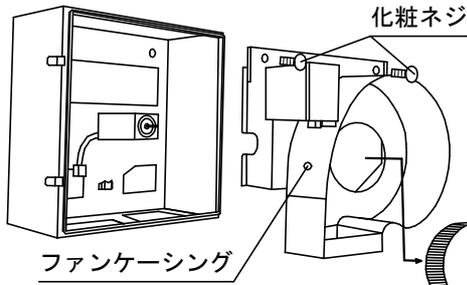


## ● 室外ユニット取付

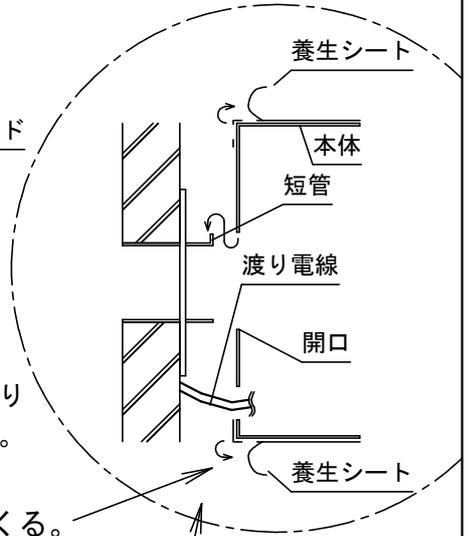
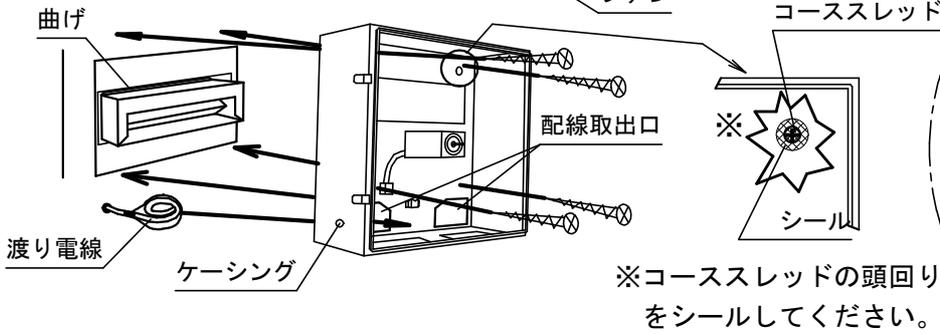
### (1) ケーシング取付



- ファスナーを解除して点検口を開き、点検口を持ち上げて本体から取外します。
- 電源ボックスに接続されているモーターハーネスを抜きます。



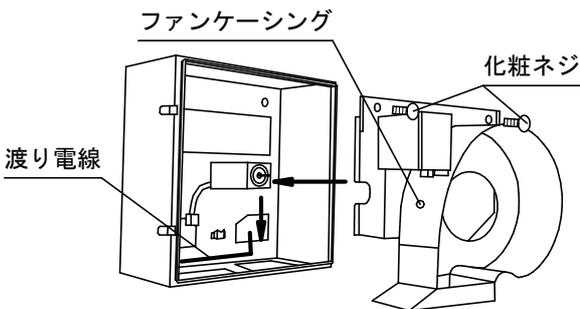
- ・ファンを固定しているネジを外し、ファンを外します。
- ・ファンケーシングを固定している化粧ネジ(2点)を緩め、ファンケーシングを上を持ち上げながら本体から取出して下さい。



- ・固定前に本体のレベルと開口との左右の隙間を調整します。  
※本体の養生シートを、外壁との間にシール処理が出来る程度めくる。
- ・渡り電線を本体の配線取出口に通し、ケーシングを短管部分に取付ます。  
※短管の曲げにケーシング開口を載せかけてください。
- ・コーススレッドを使用して本体を外壁に固定します。  
※「取付部の加工」で製作した固定板にコーススレッドが固定されていることを確認して下さい。
- ・コーススレッドの固定確認後、頭回りを4箇所シールしてください。

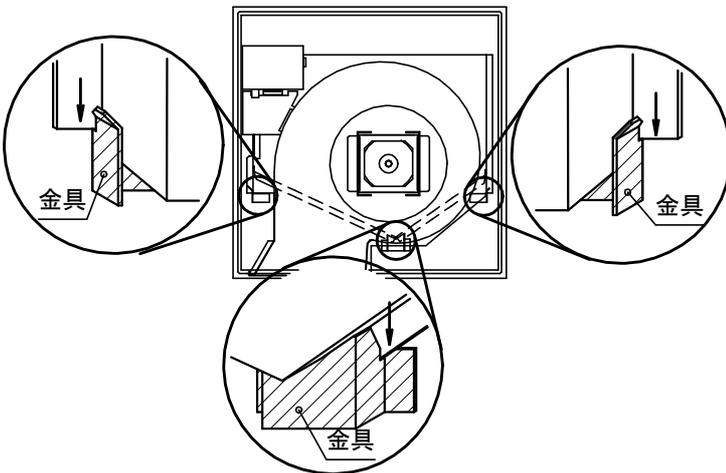
## (2) ファンケーシング取付

- ・ファンケーシングを化粧ネジ(2本)で本体に取付ます。



※化粧ネジを取付ける際は、電動ドライバー(インパクトドライバー含む)は使用しないで下さい。  
 メンテナンスを行う際、ファンケーシングを取外す場合があります。電動ドライバーを使用しますと締め付けトルクが大きい為に、化粧ネジが外せなくなります。

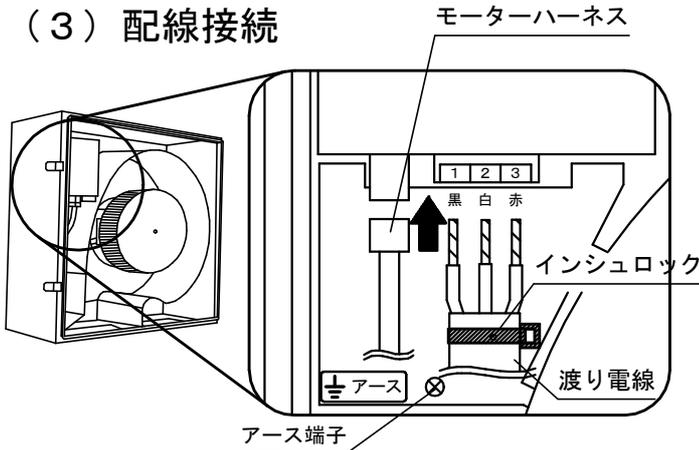
※ケーシングを取付前に、渡り電線を挟み込まないように、整えます。



### ポイント

※ファンケーシングは本体内の3ヶ所の金具にしっかりと固定して下さい。

### (3) 配線接続

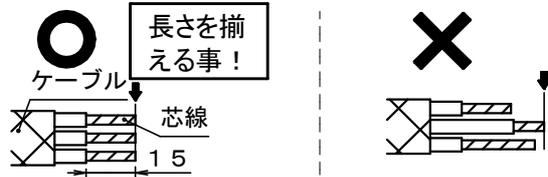


**警告**

**アース確認** アース工事を確実に行って下さい。アース工事が不完全だと、火災や漏電時の感電の原因となります。

※D種（第三種）設置工事を確実に行って下さい。

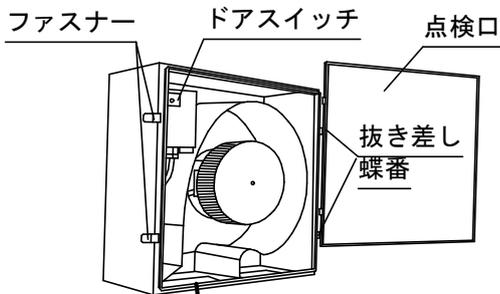
#### 《電源線の加工》



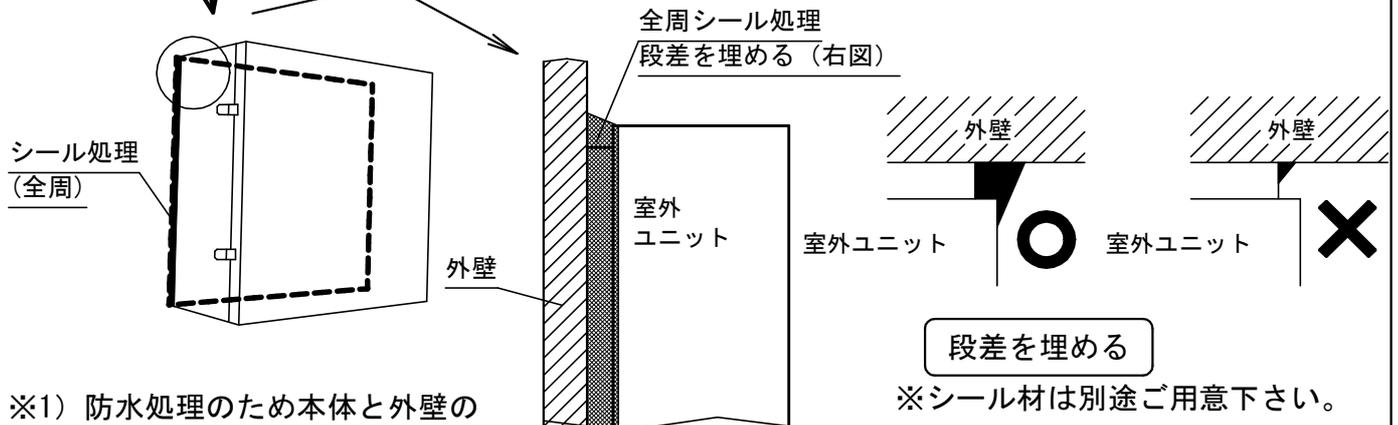
接続後、正しく挿入されているか確認する。  
 ■引引っ張っても抜けないか？  
 ■芯線が確実に奥まで差し込まれ、銅線部分が露出していないか？

- ・アース線をアース端子に接続します。
- ・渡り電線とモーターハーネスを接続します。
- ※配線は電気配線図を参照して行って下さい。
- ※渡り電線は端子台と線の色を合わせて接続して下さい。
- ※渡り電線は速結端子に接続後、付属のインシュロックで固定して下さい。
- 余った部分は切取って下さい。
- ※線の余った部分は整えて下さい。

### (4) 点検口取付



- ・点検口を本体の抜き差し蝶番に差し込み、点検口を閉じ、ファスナーでしっかりと固定します。
- ※点検口が確実に閉まっていることを確認して下さい。きちんと閉まっていないと、安全のためドアスイッチが作動しますのでスイッチをオンにしても運転しません。
- ・室外ユニットと外壁の間を全周シール処理します。
- ※室外ユニットと外壁の段差部分はシール材で埋めて下さい。
- 段差が残ったりする等シール処理が不十分な場合、建物の気密、水密が取れず本体内部や建物の中に雨水などが浸入するおそれがあります。



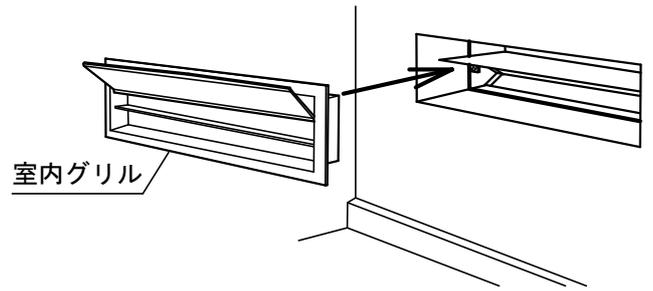
※1) 防水処理のため本体と外壁の間は上図のように必ず全周シールを行ってください。

段差を埋める  
 ※シール材は別途ご用意下さい。

### (5) 室内グリルの取付

★防火ダンパー仕様の場合は、別紙「防火ダンパー仕様ヒューズ取付け編」でヒューズを取付けた後、本作業を行って下さい。

- ・室内グリルを短管に差し込み、「カチッ」と音がして固定されていることを確認して下さい。



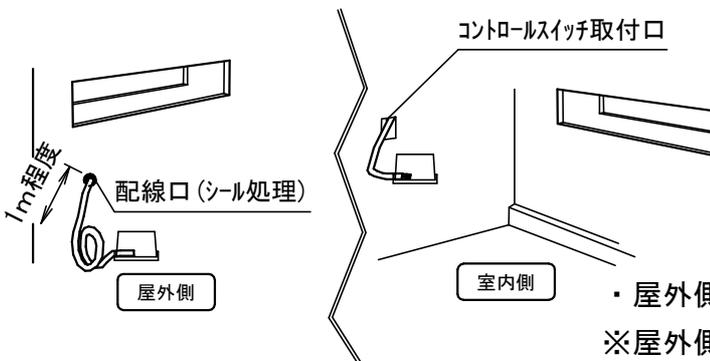
## ●スイッチ取付

### (1) 配線口処理

■重要：コントロールスイッチは火災予防上、IH調理器に対し設置位置に制約があります。

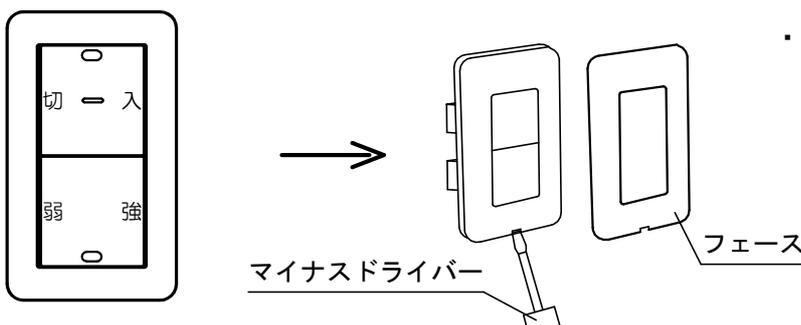
あらかじめご確認下さい。

※設置位置についての詳細は、設計資料に記載しています。

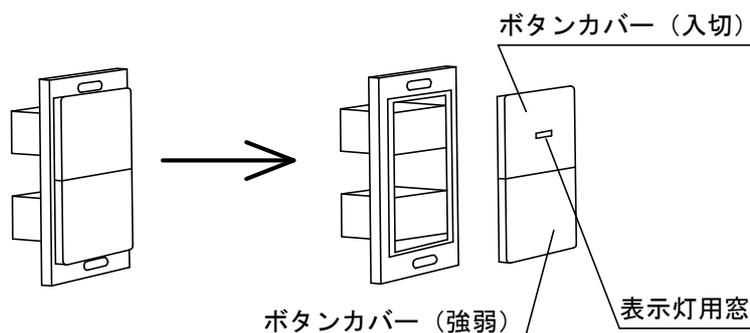


- ・屋外側の配線口まわりをシール処理して下さい。
- ※屋外側のケーブルは本体の電源ボックスと接続しますので配線口から1m程度とって下さい。
- ※ケーブルの断線・損傷無きよう確認して下さい。
- ※シール材は別途ご用意下さい。

### (2) コントロールスイッチ取付

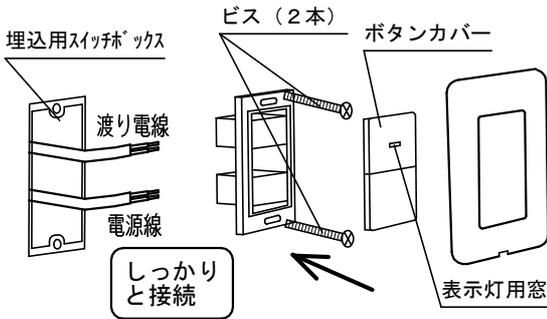


- ・コントロールスイッチのフェース下部にマイナスドライバーをあて、手前に引いてフェースを取外します。

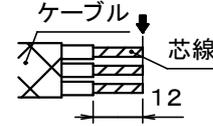


- ・コントロールスイッチからボタンカバーを取外します。
- ※手前に引くと簡単に外れます。
- ※入切スイッチには表示灯用の窓があります。

強弱ボタンと付け間違えないように注意して下さい。



- コントロールスイッチと渡り電線をしっかりと接続し、ビス(2本)でスイッチボックスに固定します。
- ※配線は電気配線図を参照して正しく行って下さい。
- ※ケーブルが確実に接続されているか確認して下さい。
- ※ビスは別途ご用意下さい。



- 下記を確認してください。
- 引っ張っても抜けないか？
  - 芯線が確実に奥まで差し込まれ、銅線部分が露出していないか？

- ・取外したフェース、ボタンカバーを元通りに取付けます。
- ※正しく取付ますと「カチッ」と音がしますのでご確認下さい。
- ※ボタンカバーの取付間違いに注意して下さい。

## ●試運転

### 作業後の確認

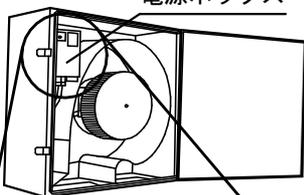
- 作業が終わりましたら、ブレーカー、電源プラグを入れる前に下表に従ってもう一度点検を行って下さい。 □の中にチェック印を入れて下さい。
- 各部品の取付は確実ですか？(取付忘れはありませんか？)
- 逆流防止ダンパー(CD)の羽根の動作はスムーズですか？
- 点検口はきちんと閉まっていますか？
- 各配線の接続は確実ですか？
- 各防水処理は確実ですか？  
(短管・配線口⇔防水シート、短管・配線口⇔外壁、室外ユニット⇔外壁)

### 試運転

- 作業が終わりましたら、ブレーカーを入れ、次の確認を行って下さい。
- ・正常な運転が行えるか確認して下さい。
- ・排気口から空気が吸い込まれ、給気口から給気されていますか？  
(ドアや窓が開放状態ですと給気しませんので注意下さい。)
- ・コントロールスイッチで風量の切替が行えますか？
- ・運転中に異音が発生していないか確認して下さい。

### ★急運転の確認

電源ボックス



- ・電源ボックスの側面の風量切替スイッチを切り替えて急運転の確認を行います。

強



- ・工場出荷時  
風量切替スイッチ『強』

急



- ・給気量を増やしたい場合  
風量切替スイッチ『強』→『急』

風量切替スイッチ

- ・点検口を閉じてファスナーでロックし、ブレーカーを入れます。
- コントロールスイッチの『入』を押し、『弱』『強』を切り替えて運転確認をして下さい。

### ■上記以外の異常について

○運転はするが、運転ランプが点灯しない。

※上記内容については渡り電線に問題があります。渡り電線に断線・損傷が無いが御確認願います。

# 8. 防火ダンパー組込仕様について

(防火ダンパー組込仕様の場合)

品名：スリムハイキⅡ 同時給排気・排気専用 防火ダンパー組込仕様  
 型式：K VW2-WA-FD、K VW2-SA-FD

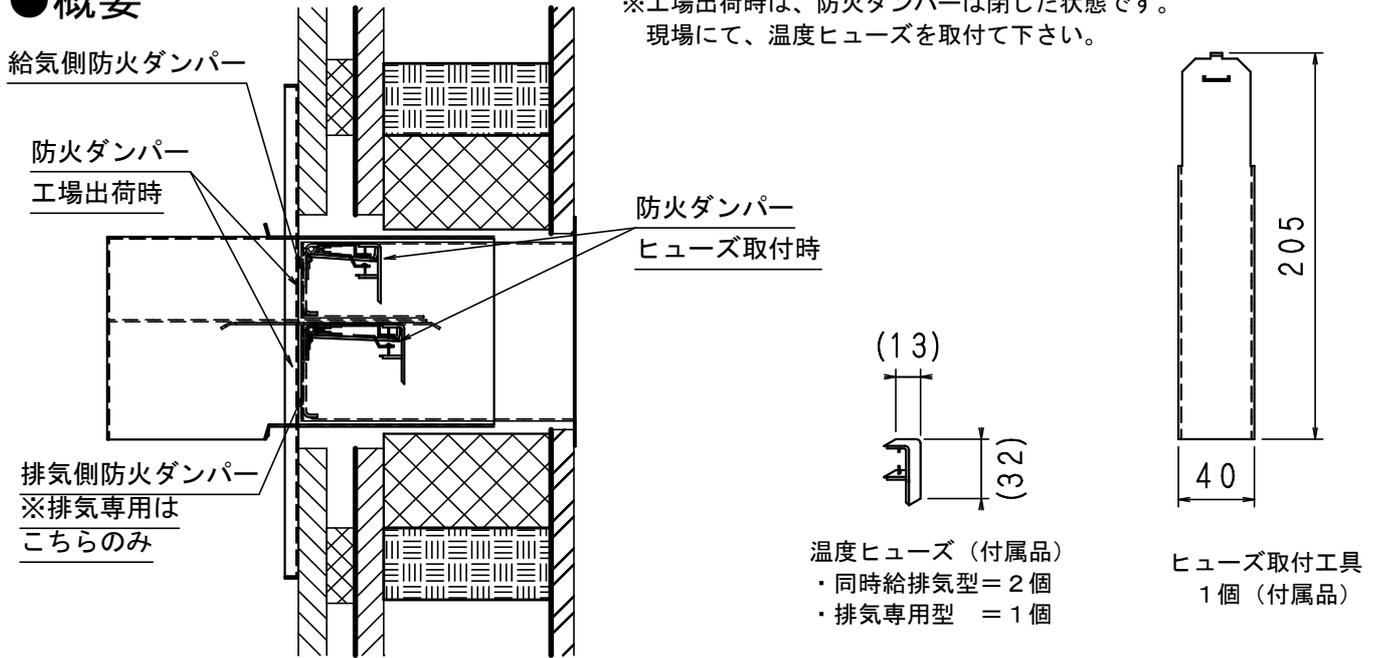
※防火ダンパー付仕様は種類あります。

- ・同時給排気型 : 排気口、給気口に2箇所の防火ダンパーがあります。(下図参照)
- ・排気専用型 : 排気口に1箇所の防火ダンパーがあります。

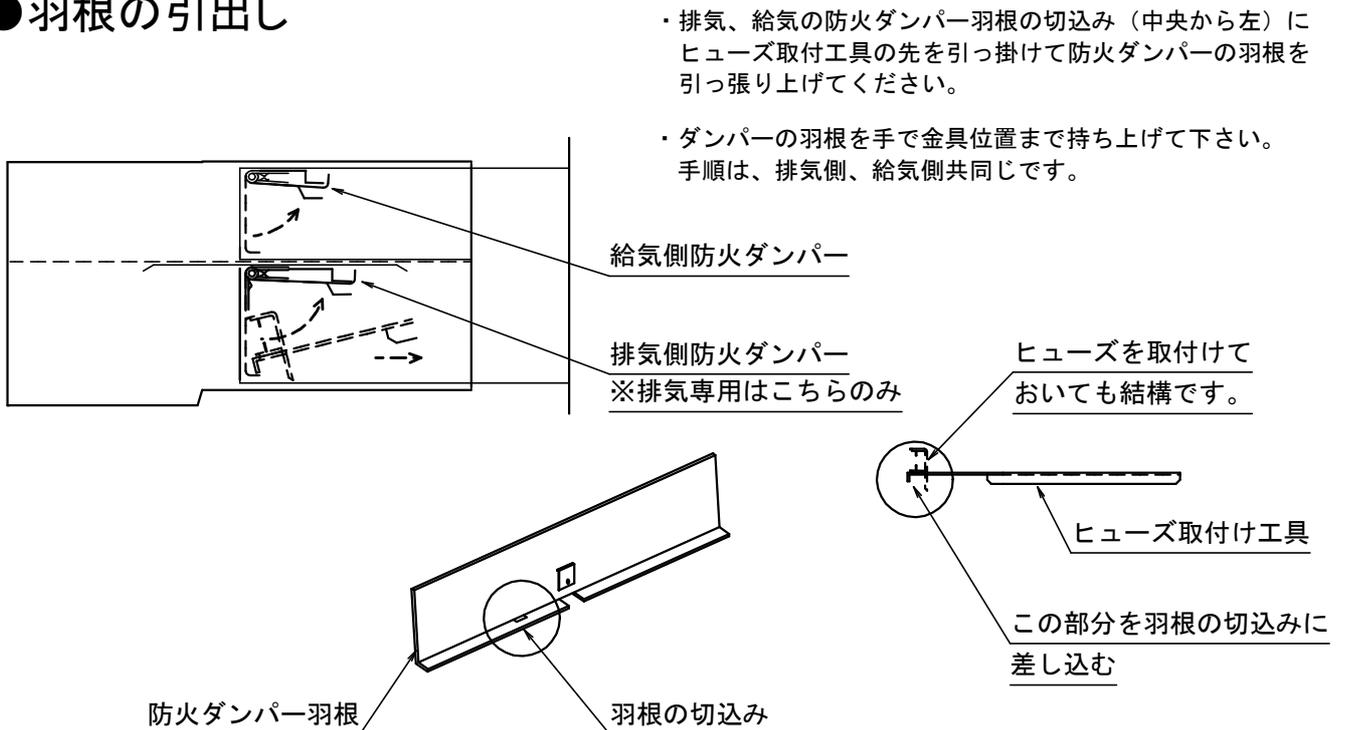
★いずれも温度ヒューズは現地取付です。下記要領にて取付下さい。

※本資料は同時給排気型について記載しておりますが、排気専用型もヒューズが1箇所になるだけで、同じ要領となります。

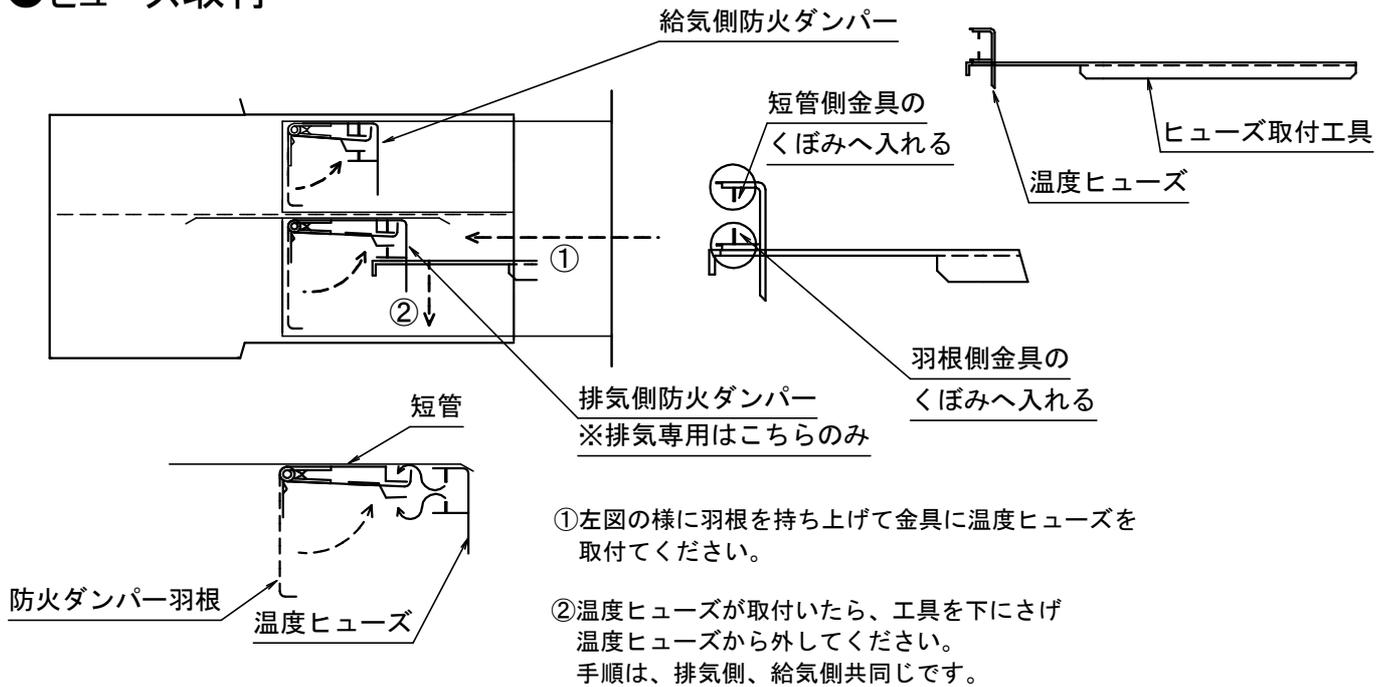
## ●概要



## ●羽根の引出し

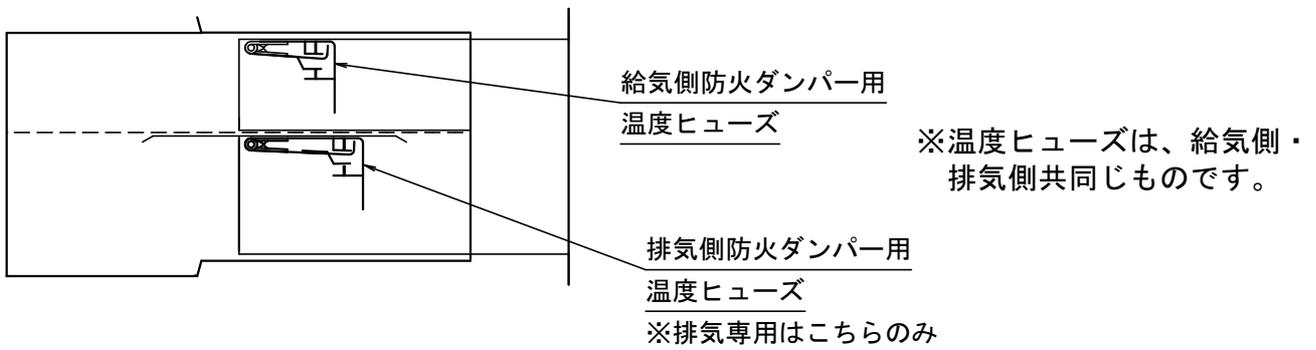


## ●ヒューズ取付



## ●固定の確認

- ・取付工具を外した後、温度ヒューズを指でつかみ、軽く左右に動かしてください。  
外れがなければ、完了です。
- ・外れた場合、もう一度始めからやり直してください。



## ●ヒューズ取付工具についてのお願い

- ・温度ヒューズの取付で使用したヒューズ取付工具は、ヒューズ取替えの際に使用します。  
取扱説明書と一緒に（出荷時のビニール梱包に入れ）お施主様にお渡し下さい。

